

こうろ町 議会だより

実り多き秋
操作の手にも力がこもる！



決算認定……………2P～10P

補正予算……………11P

一般質問……………12P～15P

議会のことをわかりやすくお伝えします

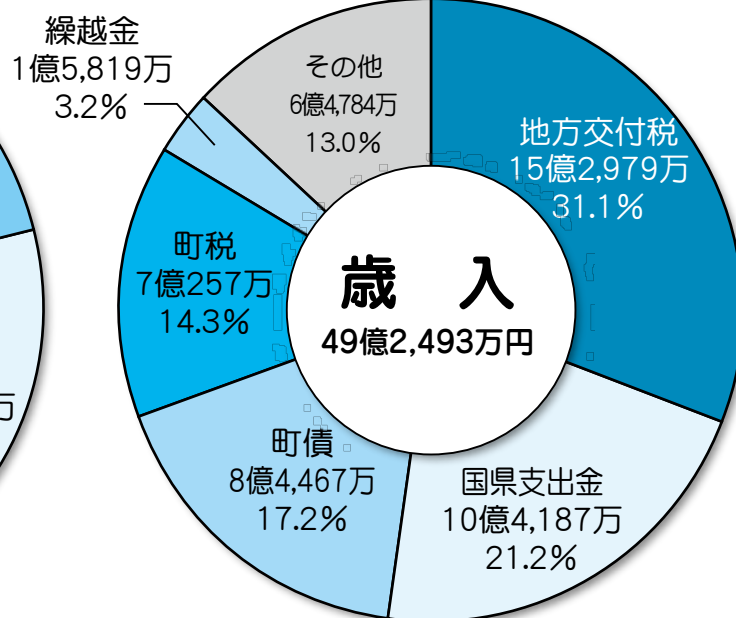
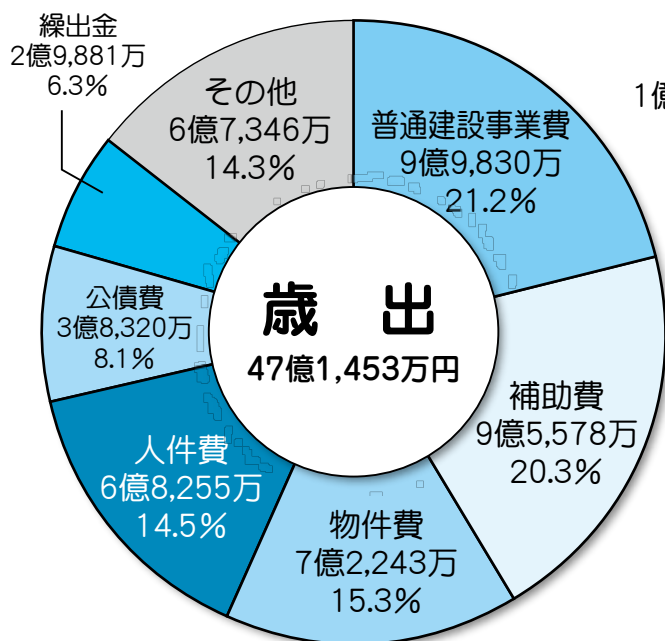
令和2年度

9月
定例会決
算

歳入歳出決算を認定

令和3年度9月定例会は6日招集され、会期を22日までの17日間として開かれた。今回の定例会は令和2年度一般会計と12の特別会計、2の公営企業会計の決算・令和3年度補正予算等提出議案31を審議し、すべて原案通り可決した。なお、本会議初日に令和2年度決算に係る財政の健全化判断比率及び、公営企業会計の資金不足比率について下記の通り報告がなされた。

一般会計



令和2年度財政の健全化判断比率

比率名	令和2年度 (%)	早期健全化基準 (%)
実質赤字比率	—	15.0
連結実質赤字比率	—	20.0
実質公債費比率	13.6	25.0
将来負担比率	94.5	350.0

令和2年度公営企業会計資金不足比率

会計名	令和2年度 (%)	経営健全化基準 (%)
簡易水道事業	—	20.0
下水道等事業	—	20.0
索道事業	—	20.0

審査意見

決算審査

参考意見

補正予算・組合報告

一般質問

昨年度の主な事業

町営バス対策事業

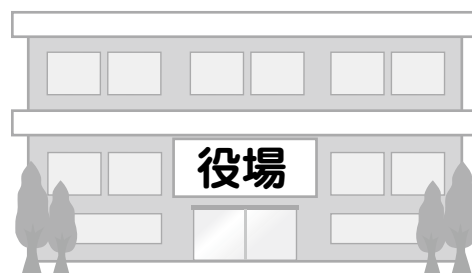
現在の町営バスの運營業務をに加え、より利便性の高い公共交通網形成を目指すため、令和3年度実施に向けてタクシー業務を導入する準備をした。

89,351千円



新庁舎建設事業

令和3年1月の開庁に向け、新庁舎等建設を行った。（令和2年度事業分、繰越分を含む）



7億7,695千円

移住定住促進事業

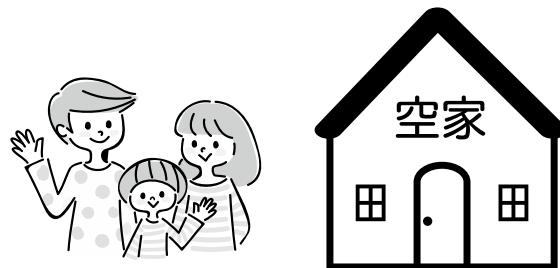
きめ細やかな移住定住相談、空き家対策、集落支援など、ニーズに対し迅速かつ柔軟に対応できるよう外部団体へ委託し、関係人口創出施策に対応した。

9,734千円



空き家活用事業

町外からの移住・定住促進を図るため、町内空き家を改修し定住する方を対象に改修費の補助等を行った。



2,427千円

プレミアム商品券 発行事業

町内で利用できるプレミアム付商品券を発行し、町内消費購買を促進し、町内商工業の振興を図った。



6,829千円

特別会計・公営企業会計の状況

決算

審査意見

決算審査

参考意見

補正予算・組合報告

一般質問

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
西部情報公開・個人情報保護審査会	97万円	35万円	62万円	4万円
住宅新築資金貸付事業	118万円	0	118万円	0
国民健康保険（事業勘定）	3億1,701万円	3億1,426万円	275万円	2,189万円
国民健康保険（施設勘定）	2億2,755万円	2億2,755万円	0	3,284万円
介護保険事業（保険事業勘定）	6億5,738万円	6億206万円	5,532万円	1億13万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	241万円	220万円	21万円	0
介護老人保健施設	7,157万円	7,157万円	0	2,258万円
後期高齢者医療	4,986万円	4,890万円	96万円	1,657万円
索道事業	2,382万円	2,382万円	0	2,322万円
江尾財産区	276万円	58万円	218万円	0
神奈川財産区	251万円	187万円	64万円	0
米沢財産区	101万円	68万円	33万円	0
合 計	13億5,803万円	12億9,384万円	6,419万円	2億1,727万円

公営企業会計	収入	支出	収支
簡易水道事業			
収益的収入及び支出	7,541万円	1億1,165万円	△3,624万円
資本的収入及び支出	1億5,536万円	1億6,102万円	△566万円
下水道等事業			
収益的収入及び支出	1億7,407万円	1億9,291万円	△1,884万円
資本的収入及び支出	1億2,553万円	1億6,099万円	△3,546万円

令和3年江府町議会7月臨時会（審議結果）

臨時議会が招集され、提案された議案について、いずれも原案通り可決された。

7月9日 第5回臨時会

- ・令和3年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ16,976千円を追加し、歳入歳出の総額を3,767,585千円とする。
新型コロナウイルスワクチン接種事業 15,985千円
マイナンバーカード交付事業 991千円
- ・損害賠償額の決定について
子供の国保育園駐車場側溝のグレーチングが持ち上がり、町民の車体に接触した事故による損害賠償。124千円
- ・江府町監査委員の選任について
議会から選出されていた川上富夫氏の議員任期満了に伴い、長岡邦一議員を選出。

7月30日 第6回臨時会

- ・江府町手数料徴収条例の一部改正について
マイナンバーカードの再交付手数料に係る部分を削除。
- ・令和3年度鳥取県日野郡江府町一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出それぞれ106,338千円を追加し、歳入歳出の総額を3,873,923千円とする。
主に、佐川地区の再開発地に伴う調査、測量設計等。既存観光施設拠点再生と高付加価値の推進に係るもの。エーデルワイス解体工事、災害復旧等。
- ・江府町固定資産評価審査委員会委員の選任について
任期満了に伴い、加持谷典範氏を選任。



岡田雄成代表監査委員

令和2年度 江府町歳入歳出決算審査意見書

審査の対象及び期間

令和2年度におけるすべての会計について、令和3年7月26日から令和3年8月10日まで2名の監査委員により監査を実施しました。以下に審査の総括と留意事項をお知らせします。

総括

- ① 令和2年度の一般会計決算状況を見ると、歳入総額4,924,926千円、歳出総額4,714,531千円で、その差額は210,395千円である。このうち繰越明許費は12,650千円で実質収支額は197,745千円である。
歳出は、公債費、投資・出資及び貸付金、扶助費等が減少したが、積立金、維持補修費、補助費、物件費が増加し、対前年比では27.8パーセント増の4,714,531千円である。対する歳入は、県支出金、地方特例交付金等、町税、自動車取得税交付金等が減少したが、国庫支出金、繰入金、町債、寄付金等が増加し、対前年比で28.0%増の4,924,926千円となっている。令和2年度の地方交付税は、対前年比81,268千円増の1,529,789千円である。基準財政収入額の算定基礎となる町税は対前年比4,480千円減の、702,564千円である。固定資産税においては573,926千円であるが、今後の見込みとしてサントリー水工場の増築等により微増して、5年後には578,327千円となり令和2年度に比べ、4,401千円の増加となる見込みである。
- ② 財政状況を示す指標をみると、経常収支比率は、対前年比0.8ポイント減の86.1%である。実質公債費比率（3ヶ年平均）は、0.2ポイント増の13.6%である。（※1 早期健全化基準は25%以下）
将来の財政を圧迫する可能性を示す将来負担比率は94.5%で対前年比12.6ポイント上昇している。（※2 早期健全化基準は350%以下）
財政状況の指標的には早期健全化基準以下であるが、今後も計画的な事業展開とともに、最小限の起債発行に留める等、更なる将来負担の抑制に努められたい。
- ③ 役場新庁舎が竣工し令和3年1月より役場業務を開始した。新庁舎建設には、1年間に9件の起債が発行されており、総額は882,500千円に達している。初回の年度元金償還額が令和6年度から令和8年度に集中しており、年度合計が48,955千円となっている。新庁舎に係るすべての起債償還が終了するのは、30年後の令和33年3月である。今後の長期金利の動向を注視したい。
- ④ 新型コロナウイルスについて、江府町では、ワクチン接種を順次実施した。高齢者向けのワクチン接種で良かったことは、事前の申し込み無しで、該当者に期日指定して案内をしたことである。3週間の間に全集落を割りあて、さらに予備日をその都度設け、バスによる送迎など、従来から取り組んでいる住民健診のノウハウが、活かされている。脅威となったデルタ株に対抗するには、ワクチン接種を加速するとともに、マスク着用や手洗い、消毒、換気、3密を避けるなど基本を徹底することが重要である。町民の生活の安心・安全の確保を目指して、努力されることを要望する。

留意事項

- ① 町税、国民健康保険税、上下水道料等の未収金について、担当課と連携し徴収に努力されたい。
- ② ふるさと納税は大幅に伸びている。町の魅力をさらに伝え、これからも躍進することを期待したい。
- ③ 学校情報通信技術環境整備事業が、江府小・中学校のICT教育の充実化を目的に実施された。小学校から身につけた知識を、中学校ではさらに応用できるよう学んでいる。今後のICT教育に期待したい。
- ④ 新庁舎の建築資金等の大部分は借入金と基金で賄っているため、当面は予算編成に影響はないが、令和6年度から元金償還が始まるので、留意を要する。
- ⑤ 農業振興事業にかけ一般財源からの補助金が少ないと思われる。特にコメ農家に対する補助金がありません。また、今後の米価も期待薄の情勢で、集落営農や農業法人化に移行するまでに、農家の方の意欲がもたなくなるとと思われる。

既存事業の見直しを含め、町内に有る様々な課題に即した事業を提案できるよう、農家への聞き取りや、他自治体の事例等、情報収集を引き続き行っていただきたい。本当の意味での農業立町となるよう期待する。

決算の審査

一般会計

総務課

Q

町有のマイクロバスが、廃止となり利用できなくなった。マイクロバスを廃止するとき「対応する」ということだったが対応してほしい。

A

改めてマイクロバスを持つことはないが調査の上、報告します。

Q

学校関係の図面が残っていない。公共施設の建物はすべてデータ化して残せないか。

A

必要なものはすべてデータ化してやっています。

Q

ふるさと納税の返礼品に江府町産の米を町が買い上げて多く入れるべきと思うが。

A

現在は、江府町産の水を多く返礼している。今後、検討するときに参考にします。

Q

町民は、診療所でPCR検査を受けたか。PCR検査はしないのか。

A

福祉保健課としてはPCR検査を行うことは全く考えていません。

Q

旧庁舎に空気清浄機が5、6台あったが、もったいないので、それを使ったらどうか。

福祉保健課

産業建設課

Q

みちくさ工房の施設が古くなっている、改善せよとの話があるが。

A

老朽化が進んでいきます。ゆくゆくは更新を

A

使用できるものがあるれば色々なところで使います。

Q

堆肥センターの収支は、どうなっているのか。

A

農業公社での売り上げは、135万円あります。



みちくさ工房



江府町で始まった輝太郎柿栽培

Q

新甘泉の生産は理解できるが、地域で取り組むことが難しい。新規に果樹をやりたい人はいると思うが、新規参入者に苗木の1本でも、補助金を出すことを考えてみては。

A

果樹栽培の補助金が出るためには、規定の面積と植えつけ本数が必要です。

Q

イノシシやシカによる被害、耕作放棄地になった田畑はないか。

A

田畑がイノシシのぬた場となり、耕作放棄地になった場所があると思います。

Q

鳥獣害獣駆除で捕獲した鳥獣に対して、国や県から奨励金が出るが、町からも奨励金を出してほしい。

A

鳥獣の侵入を防ぐための、柵や電気柵に対しては、補助金があるが、鳥獣に対しては、制度がないため補助金はありません。

住民課

Q

過疎バス対策において、各市町の負担率はどうなっているか。

A

負担率は、米子から日野病院までの33キロ中、江府町のあいだ8キロが負担率となり負担金は470万円です。

Q

発泡スチロール、軟質プラスチックの収集が、月に1回しかなく、多量に溜まって困っているため、収集回数を増やせないか。

A

来年度から、月2回に変更します。

教育委員会

Q

昨年度は、町民の方を対象に給食試食会の開催があり、給食を通じて地域の方との関わりを持たれているが、今後の計画はあるか。

A

農作物を生産する方や町民の方を対象に、給食試食会をやりたいと考えています。



耕作放棄地

特別会計

住宅新築資金等貸付事業

Q 現在の償還状況は。

A 貸付事業はすでに終了した。滞納者については担当課で収納事務を計画的に行い、早期完納に努力します。

国民健康保険（事業勘定）

Q 年度末の被保険者は、538人である。特定健診の受診率は41.2%であるが県内では上位である。受診率向上対策は。

A 受診率を上げるために、電話・葉書により案内をしている。受診率が上がると、交付金も上がることとなっている。

国民健康保険（施設勘定）

Q 俣野診療所についての状況は。

A 俣野診療所の開設により、地域住民の健康と医療と福祉の充実につながっている。更なる努力をします。

Q コロナ対策で、診療所の改修を行っているが、状況は。

A 改修について、職員の希望なり、ミーティングを行い設備の充実を図っている。受診者からも良い評価を頂いている。

介護老人保健施設

Q 現在の運営状況は。

A 8月末時点で、短期入所も含む入所者数は67名。入所待機者が30名。満床80名に対し、90%を下回らないよう維持すること

を目指します。

通所リハビリテーションについては、定員30名に対し、85%の1日25名の稼働を維持することを目標にしています。利用者の希望を受けるようにしています。

介護保険事業（保険事業勘定）

Q 介護認定者数について。

A 年度末の介護認定は298人。さらに予防事業を充実していきます。

索道事業

Q 施設維持管理費について。

A 維持管理費が多くなかかっており、必要最低限となるような経費削減に努めます。

公営企業会計

簡易水道事業

Q 現在の水道事業の状況については。

A 年度末の給水人口は2,710人で普及率は99.49%。冬季の大規模給水事故について、老朽化が原因。今後施設の点検をしていく努力をします。

下水道事業

Q 現在の下水道事業の状況は。

A 年度末の処理人口は2,526人で、接続率は92.29%となっている。今後は効率的な運営のため施設の統廃合の検討を行っていきます。



俣野診療所（旧俣野小学校）

決算特別委員会 参考意見 一般会計

令和2年度一般会計決算は歳出が、47億1,453万円であり、前年比で27.8%増加、歳入では、49億2,492万円、28.0%の増加となっている。令和2年度決算における実質公債費率は13.6%となり、令和元年度より0.2%増加したが、早期健全化基準とされる25%は下回っている。人口減少時代における安心安全の町づくりに向け、福祉や防災対策に向けた投資は十分可能である。

しかし、経常収支比率の86.1%は前年より多少低くなったとはいえ、財政の硬直化傾向を示している。将来の大型事業を考えながら、新庁舎の活用と住民サービス向上に向け、確かな財政運営に努力されたい。

総務課

- ① 人間ドック事業の利用実績が向上している。併せて郡内の医療施設の利用も高まるよう啓発に努められたい。
- ② 町有のマイクロバスを廃

止したため、町民及び各種団体組織は、特に交通移動において不便を余儀なくされている。町民の意見を聞き早急に対応されたい。

- ③ 町消防団団員は11名の欠員となっている。町職員を始め全町に対し、啓発に努め各分団とも、早急に定員を満たすよう努められたい。

福祉保健課

- ① 子育て世代包括支援事業は一定の実績を上げており、その必要性は更に高まっている。事業の周知に努め、より気軽に相談できる環境となる様努力されたい。
- ② 住民健診の検査項目で基準値外の該当者に通知をし、病気の早期発見・早期治療に努めているが、二次検診の関心度は低い。受診率の向上に努められたい。
- ③ ファミリーサポートセンター事業において、援助依頼会員と援助提供会員との相互援助活動は円滑に推移

し、高評価である。今後さらに充実されたい。

農業委員会

- ① 国有財産貸し付けの契約実績において、事務作業に支障をきたしている物件がみられる。諸事情を調査の上、早期に契約の見直し等を検討されたい。
- ② 機構集積支援事業において、土地の貸借が円滑に進む様努め、更には認定農業者や農業法人等の利用状況を把握し、適切な相談、調整、調査活動をされたい。

産業建設課

- ① 「みちくさ」において、コロナ禍による売上の減少や担い手不足が、課題となっている。それらの解決の為、観光事業等と連携し、町農業の推進を図られたい。



みちくさ

- ② 新甘泉（梨）栽培が軌道に乗りつつあるが、地域に組み込みが進んでいない。新規参入者には、相応の補助等を実施啓発し、栽培面積の拡大に努められたい。



新甘泉ナシ畑

- ③ 鳥獣被害は年々悪化し、233頭の捕獲実績が有るが、有資格者や組織拡大に課題が残る。町独自の補助金を検討し、ジビエ事業の活性化に向け努力されたい。



奥大山地美恵

- ④ 分収造林を含む町内の山林は、樹齢50〜60年の伐採時期にきている。町として確かな更新伐の計画を立て確実に実行されたい。
- ⑤ 笠原地区において地下水位等の調査分析を行っている。調査の経済的部分に

ついて、関係企業も負担することを検討されたい。

- ⑥ 下安井く舟場間の道路建設は、地元集落の念願であり、災害時には、住民の安心・安全に大きく貢献する。早期の事業完成に向け最大の努力をされたい。



日野川左岸下安井地区

住民課

- ① 2年度はふるさと納税が1億2,000万円と大幅に増加した。町産米など返礼品は好評であるが、コロナ禍を鑑み地元産米の利用率をより高める検討をされたい。
- ② 移住・定住対策事業に当たり、関係集落と移住者とのコミュニケーションを図り、一層の円滑な事業振興に努められたい。
- ③ 税収納システムを改修し納税は、コンビニエンスストア収納が可能になった。今後町民に広く周知し利活用が、さらに増加するよう努められたい。

教育委員会

①防災・情報センターをはじめ公共施設の発電機の整備点検は、緊急時の使用に支障なきよう務め、特に燃油等については、規定に沿って確実に点検された。

②放課後子ども教室事業において、長期休業中に町内在住高校生を「高校生学習支援員」として雇用した。将来の社会参加に役立つと考える。ぜひ継続されたい。

③小学校体験授業で、コマ作り体験を実施している。手植え・手刈り等、昔ながらの作業は、農業への興味、食物の大切さの気付きになる。今後も継続されたい。

④体育館のトレーニング室の器具が老朽化し、使用禁止の物も多く利用者には、不評である。最新の機器を導入して、町民の健康づくりに努められたい。



体育館トレーニング室

決算特別委員会
参考意見 特別会計住宅新築資金等
貸付事業

①貸付事業は既に終了しているが、滞納者は税関係も関係していると考えられ、滞納事務の一元化を行い計画的な収納事務を行い早期完納に努力されたい。

国民健康保険
(事業勘定)

①年度末の被保険者は538人である。特定健診では、受診率は412%であるが、県内では上位の受診率である。受診率の上昇を図るため、電話やハガキにより案内している。今後とも被保険者の健康を守り、併せ病気の早期発見、早期治療を行う事により、医療費の削減に努められたい。

国民健康保険
(施設勘定)

①俣野診療所の開設により、地域住民の健康と医療

と福祉の充実につながっている。また、地域医療に、従事する医師を育てるための役割を担っており、重要な施設であるが、更なる経営の健全化を図られたい。

索道事業会計

①奥大山スキー場を含め、施設全体が休止状態であり、今後も町営ではスキー場を運営しないことになっているにもかかわらず、維持管理費が多くなっている。必要のない費用の削減を行われたい。また、施設の老朽化もあり、今後の運営について早急に検討を行っていただきたい。

簡易水道事業会計

①給水人口は2,710人であり、普及率は、99.49%である。総配水量は480,346m³であるが、有収率は69%となっている。約3割が無駄になっている。



奥大山スキー場に併設したエバーランド奥大山

下水道事業会計

おり、維持管理費用の削減を始め、資源の有効活用のため、漏水原因を調査し、早急な改善に努められたい。

②冬季の大規模断水については施設の老朽化が原因との事であるが、住民生活に大きな支障をきたすため、施設に合わせた点検を行い事故の発生が無いように努力されたい。

①年度末の接続率は、29.2%である。川筋地区集落排水処理施設を江尾地区公共下水道施設と統合し、管理費の低減を図っている。今後も施設の統廃合の検討を行い維持管理費の低減を図られたい。

②水道の使用水量に合わせた従量制の下水道料金体制の検討を行われたい。

補正予算

今議会において一般会計、特別会計、公営企業会計から11件の補正予算案が上程されいずれも承認されました。

一般会計は補正総額 **2億3,278万円**
今年度予算総額 **41億670万円**となりました。

※新型コロナ対策事業分 歳入(国庫支出金) **3,728万円**

歳出(主なもの)

民生費
保育業務ICT化システム導入事業
467万円

商工費
観光事業者復興支援金交付事業
600万円

※その他 歳入(地方交付税、県支出金、町債等) **1億9,284万円**

歳出(主なもの)

総務費
情報通信設備管理運営事業費
(電柱支障移転事業)
598万円

総務費
旧庁舎解体工事
設計委託事業
322万円

総務費
創作館解体工事
設計委託事業
87万円

日野病院組合議会報告書

令和2年度病院事業等の決算について報告がありました。

【総括的事項】

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT(平成22年度更新)・MRI(平成25年度更新)などの診療機器や無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内、地域包括ケア病床25床)の入院業務と20診療科の外来診療に加え、訪問診療を行った。加えて、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。また、新型コロナウイルス感染症に係る院内感染防止対策として、発熱外来棟の増築等施設・設備整備を行った。

【累積剰余金】

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。累積剰余金は、令和2年度決算終了時点で6億4,325万円となった。剰余金を処分する際は、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、令和2年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告書

令和3年第2回日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会報告がありました。決算については以下のとおりです。

歳入総額 1億7,989万円
歳出総額 1億6,529万円
差引残額 1,460万円 差し引き残額については、翌年度に繰り越しとする。

陳情の 審査結果	受理番号及び 受理年月日	件名及び要旨	提出者及び紹介議員	審議結果
	陳情第3号 令和3年 6月21日	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	沖縄県那覇市おもろまち4丁目17番11号1階 「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従	不採択
	陳情第4号 令和3年 8月18日	地方財政の充実・強化を求める陳情	鳥取市南町505 自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹 江府町江尾1717-1 江府町職員労働組合 執行委員長 道下尚徳	採 択
	陳情第5号 令和3年 8月23日	新型コロナ禍による米危機の改善を求める陳情書	鳥取市鹿野町今市916 鳥取県農民運動連合会 代表者 今本 潔	採 択

令和3年
第7回江府町議会
9月定例会提出

移住定住政策の充実で 町人口減にブレーキを！



川端 登志一

動画で一般質問

川端議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

**田園回帰の意識
高く好機として**

質問 止まらない人口減少対策として移住・定住を加速する必要があるのでは。

町長答弁

必要性を痛感している、そのため佐川の旧パチンコ店跡地の買収交渉に迅速に動いた。

質問 相談件数に対して移住の成果が上がっていないとみるが。

町長答弁

確かに相談件数はかなり増えているが、住宅不足でやむなく町外へ行っている状況がある。



佐川新住宅団地予定地

質問 このほど発表された佐川新住宅団地の方向性や戦略を明確にして、移住・定住の実績に繋げるべし。

町長答弁

開発運営方法はPPP方式であるが、単身向け集合住宅や子育て世帯向けの戸建て、そのほか商業施設を整備する。

質問 近年続く災害やコロナ禍の影響で都会から地方へ田園回帰の意識が高くなっている、好機と考えるが。

町長答弁

その傾向の認識はしている。そういう若い世代の方を何とか受け入れ、町の維持につなげたいと考えている。

質問 移住、定住は空き家対策とセットで進めるべき事業と思われるが。

町長答弁

すぐに住める空き家がなく非常に苦慮している。

質問 であるなら全集落に協力を呼びかけ事業推進するべき、ぜひ集落ぐるみで。

町長答弁

そうしたいが、実際には集落にも温度差があり、積極的なほうに多い実績となっている。

**個性的な環境
整備を**

質問 集落より推奨された家を先行投資として、必要最低限の整備をしてはどうか。

町長答弁

時間をかけて、必要な支援制度など可能なものについては検討したい。

質問 集落の地理的特性に合致した自然的環境整備を行い、その地区の価値を高めるべきと考える。それをしなければ他の町や佐川団地のような生活環境の優位な地区に人口が集中してしまう。

町長答弁

すべての集落にミニ公園とかドッグランを作るのは、難しいと考える。

質問 希望のあった集落に対して、遊んで学べる小川の整備とか木の実や草花・昆虫などが採取観察できる里山、家族連れでソリ遊びのできるちよつとした

スロープなど地域に合わせ
たものでよいが。



小川で楽しむ子ども達

町長答弁

移住者が一番に見るのは住むところであり公園などではない、また、公共施設は3割減らさなければならぬ。したがって追加の投資は難しい。

質問 事業推進に向けもつと議員を活用すべしと考えるが。

町長答弁

議員には、是非ともご協力願いたいと考えている。

質問 支障となる空家の残存物を、町の空き施設で一時預かりしては。

町長答弁

しっかりと検討し、考えてみたい。

江府町は農業の町！

農業施策の充実を！



芦立 喜男

動画で一般質問



芦立議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

耕作対策と 転作対策について

質問 私は、江府町は農業の町であると思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

見渡す限り自然があつて、田んぼがきれいで、本当に米がおいしい、農業従事者が多く第一次産業に従事している人が多い、そういった町です。ほかの側面として水もいいところです。

質問

町内を回って、農家の人に話を聞いても農家は苦しい。米価は下がって農業や肥料は値上がりする、このような実

態を町長はどう思うか？

町長答弁

平成16年に食糧法が改正になり、米は完全自由化され、市場の需給価格が決まるので確かに農家は、苦しいと思うが世の中の変化に應じたやり方

を工夫しながら頑張つて頂きたい。

質問

米は需要と供給バランスが崩れ、国は米を作らなくて良い、ソバや麦などの穀物に転作してくださいと、1反当たり3万円の助成金を出してくれませんが、町としても助成金を出して頂きたい。

町長答弁

転作奨励金については我が町の場合も、水稻をつくらなくなった水田でソバの作付を推進しており、町独自の産地交付金として、排水対策や団地

化、あるいは集団での取り組みに対して加算を行っている。

質問

米を作つて、1袋5千円しかもらえない。いい水、いい空気、いい環境で米が作れるのに、米を作る気概が失われることもあるのではないか。

町長答弁

確かに苦しいのはよくわかりました。ただ苦しいと言つてただで現状を変えないのは、どうかと思う。集落営農を進めることや、高収益の作物に転換することも大切と考える。

遊具を備えた公園 の設置について

質問

町内にせせらぎ公園があるけれど、親子が遊ぶところ、グラウンドゴルフをするところが重複するため使いにくい。また専用の遊具を備えた公園がないが町長の考えを伺う。

町長答弁

私も、あるにこしたことはない、欲しいなと思う。ただ、小さな町でつくるということは場所の問題も含め苦しいということ、理解いただきたい。

質問

グラウンドゴルフをする場所と子どもや親が遊具で遊ぶところをわけて、多少お金をかけて整備をしてはどうか。

町長答弁

グラウンドゴルフをされる方々の意見を聞きながらどういう形がいいのか、話し合つてどんなふうにすればいいのか考えてみたいと思う。



他町の公園

農業支援政策の拡充と 農家保護政策について



森田 哲也

動画で一般質問



森田議員の一般質問は
動画サイトyoutubeで
ご覧いただけます。

厳しさを認識した 農業保護政策を

質問 農家の高齢化、
担い手不足により、離農
や耕作放棄地が増加して
いる。現状とその問題点
をどう認識し、また、そ
の改善に向けての具体的
な政策と成果は。

町長答弁

価格の低下、兼業化や高
齢化により農家が小規模化
になり、収益性の高い農業
転換が困難になった。組織
化やそばの作付けを推進し、
多様な担い手の育成確保に
取り組んでいる。

質問 農業所得は、さら
に低下している。食料保障
や多面的機能確保など、農
業の役割は大きく、所得補

償には、税金で支援すべき
との意見もある。新規補助
事業の導入をすべき。

町長答弁

個人農家の支援は難しい。
ある程度の規模がある経営
体を実施すべきと思う。所
得補償の問題は、やはり国
の問題。

農業を守り持続可 能なまちづくり

質問 農業を守ることが
自治体を守ることと国民
も認識している。持続可
能なまちづくりを進める
ために、農家に見える形
で支援することが、農家
の励みになると考えるが、

町長答弁

農業者だけを重視するこ

とは難しい。国の制度で農
地を守る予算は結構支出し
ている。ただ、産業だけで
農業は語れないが、所得補
償までは、国を巻き込んだ
議論になる。

特定の担い手から 多様な担い手へ

質問 認定農家だけでは
農地は守れなくなり、農
水省では、多様な兼業農
家などの育成に力を入れ
てきた。定年退職を機に
本格的に農業を継ぐ場合
などに、「定年帰農奨励
金」での支援や、担い手
育成補助事業の対象を、
認定農家だけでなく多様
な農家に広げるなど時限
立法でも策定すべき。

町長答弁

「定年帰農」という考え
方は有効な担い手確保にな
るのではと思う。今の新規
就農支援事業はハードルが
高く受けにくい。退職し農
業中心でやる人を支援する
ことは、検討したい。

しかし、兼業農家を現状
のまま支援することは、補

農業支援の拡充と 農家保護政策を

助金を出し続けることにな
るので、新規に取り組む事
業に補助金をあてたい。

質問 今年の米価は、コ
ロナ禍が原因で一俵当た
り3千円の減となる。そ
のうち2千円位は、国の
コロナ交付金を当てれば
いい。財源があれば町独
自でも支援すべき。今年
の監査委員の指摘に、一
般財源からの農業振興に
対する補助金が少ないと
あった。こんな時こそ大
胆な農業支援が必要だ
と思うが。

町長答弁

今(2022)年度予算をつけるこ

いう話は出来ないが、実態
をよく調べ予算に向かい
たいと思う。

質問 農家は、いつの機
会に農業をやめようかと
考えている。このままで
は、本町は続かないと危
機感を抱く。農家を勇気
づける政策が必要。農家
を守らずして本町は守れ
るのか。

町長答弁

出来る限りのことは考え
たい。農業の機能は重要で
あり、農家の減少は食い止
めたい。頭を切り替えてそ
れに必要な予算は確保した
いが、ただ、漫然と維持す
る補助は反対である。



衝撃的な下落!!今年の米価

保育園移転・エバーランド

奥大山の利活用は？



移転が待たれる保育園

佐川地区において、住宅あるいは商業施設・あわせて保育園の整備について考えを示したところ佐川地区の役員さんは一応の了解を頂いておりますが、保育園の騒音については、近隣の住民の皆さんと協議には入っておりません。保育園の跡地については、土地はすべて借地であり、基本的

町長答弁

があると考えている。移転に伴う近隣住民からの意見等を伺っておられるかまた、移転後の跡地利用について、保護者からの強い要望もあり、遊具設置も跡地利用の一つの方法であると考えてるが、所見を伺う。



阿部 朝親

動画で一般質問



阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

には、解体撤去して土地をお返しする考えである。

質問 町内には遊具で遊べる施設が必要と考える。

保護者からの要望について前向きに検討すると明言されておられるが、これについてはいかがでしょうか。

町長答弁

現状でも上の段広場などに若干の遊具を整備をしている。前向きに検討すると言いましたので、若干の遊具をプラスする事は考える。

エバーランド奥大山の後は？

質問 現在計画がとん挫しているが、今時点での今後の構想が有ればお聞かせ願いたい。現状を利用した、ドッグランとかマウンテンバイクやグラスボードとか、木谷の水を利用した釣り堀や釣った魚を焼いて食べるなど外部からの提案でなく地元住民や町が一体となって利用計画を立案すること

質問 現在計画がとん挫しているが、今時点での今後の構想が有ればお聞かせ願いたい。現状を利用した、ドッグランとかマウンテンバイクやグラスボードとか、木谷の水を利用した釣り堀や釣った魚を焼いて食べるなど外部からの提案でなく地元住民や町が一体となって利用計画を立案すること

とが重要と考えるが、所見を伺う。

町長答弁

オールシーズン活用型の観光拠点としての再生計画を地元で説明をしたが、スケジュールも厳しく、大規模な投資をして新たな拠点施設を設置する事は一時断念したところである。今後はエーデルワイスを撤去し、木谷沢の保全と活用について検討を行う。また、当面は、木谷沢の保全活用、エバーランドの有効活用については、ワーキンググループを中心に進めていく考えである。

停電時の対応は？

質問 停電も災害の一つ



利活用が待たれる木谷沢溪流

と考える。冬季における停電は、今日の電気に頼った生活に、特に高齢者世帯では暖房器具が使用できなくなり、生活上の問題が発生すると考えるが、停電時の対応策等について伺う。

町長答弁

停電は、災害でなく災害や設備の故障により発生するものと考えている。全町での停電発生時には町だけでの対応は無理である。社協の方で愛の輪協力員の仕組みがあり、高齢者の見守りを担っており、行政がすべて行うのではなく近所の方が助け合つ、それを町が支援していく考えである。

私のひとこと /



佐川 高津 亜紀

私のひとこと

長男が「子供の国保育園」に入園するのを

きつかけに江府町に帰ってきました。米子で暮らしていた時は、保育園を探すのも大変でした。「保育料無料」という大きな魅力にひかれ帰ってきましたが・・・当初は「相変わらず不便な町」と毎日思っていました。子どもに必要な物もさつと買いに行けないし、遊具が充実している公園もない。6年も経てば、だいぶ不便さにも慣れて、自然の中で暮らすのも平和で良いかなと思っています。でも、もっと子どもが楽しめる遊具のある公園があれば良いなと思います。江府



町に公園がないわけではないのですが、正直まったく魅力がなく・・・遊具もかなり古いです。公園で遊ぶなら、伯耆町か米子まで出てしまいます。公園に限らずもっと子ども達がワクワクするような遊び場が出来ないかなと日々思いながら暮らしています。



洲河崎 影山 智彦

江府町の良さの再発見

今年の7月から縁が

あつてJA鳥取西部江府支所で働かせて頂いております。

以前は全国チェーンの釣具店で勤務しておりましたが、転勤で秋田県に勤務となり地元を離れることとなりました。

東北地方はなかなか行ける機会もなかったので大変貴重な体験をさせて頂いたと思います。東北地方は雪深いイメージがあったのですが、雪に関しては一部豪雪地帯を除けば江府町も負けてなかったですね。

食べ物に関してはおいしいものがたくさんありました。特に宮城で食べた牡蠣の浜焼きは、また食べに行きたくなるおいしさでした。

ただししばらくすると、環境的に不満があった訳でも、寂しくなった訳でもないのですが、地元に戻りたい気持ちが出てきました。

若い頃も県外に出ていたのですが、その頃には感じなかった郷愁みたいなものではないでしょうか。何かあった時にすぐに帰ることのできる場所でもありませんでしたので、仕事を辞めて江府町に戻りました。

江府支所で働くようになってから、まだ3カ月足らずですが改めて江府町の良さを知ることが出来ました。まずは人の良さですね。支所に来られるお客様も、配達でお宅を訪ねた際も皆さん本当に丁寧に接して頂きます。

後は皆さん本当にお元氣です。ちよつと田んぼや畑の時期なのはありますが、皆さん何かしら身体を動かされている方が多いです。

また、米はもちろんですがピーマンや梨など、江府町産の作物も農協に入ってから知ることが出来ました。

少子高齢化は危ぶまれています。そんな中でも江府町の魅力あるものは生まれてきているのだと感慨深かったです。本当に毎日が発見の連続です。

幸い、江府支所の皆さんは優しく、仕事も忙しいながらも楽しく出来ています。私も少しでも江府町、そして地元の皆さんに貢献できるように頑張っていけたらと思います。



10月の声が日に日に過ぎて月日のながれをつくづく感じております。彼岸花の色鮮やかな光景に目を奪われるなか田畑の作業が順調に進んでいることが何よりであります。災害のない日々が町民の皆様にも潤いをもたらしていることを心から祈っております。一方、議会におきまして、コロナウイルス対策の事業についてしっかりと提言し、町民の安心安全に対応してまいります。

三輪 英男



広報公聴常任委員会

委員長 三輪 英男
副委員長 川端登志一
委員 阿部 朝親
芦立 喜男
加藤 周二